

四国森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成28年10月17日)

| | | | | |
|---------|-----------|--|-------------|------------------|
| 開催日及び場所 | | 平成28年9月26日(月曜日) 四国森林管理局 1階会議室 | | |
| 委員 | | 坂本伸廣 (税理士) 西森やよい (弁護士) 斉藤章 (公認会計士) | | |
| 審議対象期間 | | 平成28年 4月 1日～平成28年 6月30日 | | |
| 審議対象案件 | | 226件 うち、1者応札案件 76件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 | | |
| 抽出案件 | | 36件(抽出率16%) うち、1者応札案件 8件 (抽出率11%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 0%) | | |
| 抽出案件内訳 | 工事 | 一般競争 | | 5件 うち、1者応札案件 1件 |
| | | 指名競争 | 公募型指名競争 | 該当なし |
| | | | 工事希望型競争 | 該当なし |
| | | | その他の指名競争 | 該当なし |
| | | 随意契約 | | 該当なし |
| | 業務 | 一般競争 | | 5件 うち、1者応札案件 0件 |
| | | 指名競争 | 公募型競争 | 該当なし |
| | | | 簡易公募型競争 | 該当なし |
| | | | その他の指名競争 | 該当なし |
| | | 随意契約 | 公募型プロポーザル | 該当なし |
| | | | 簡易公募型プロポーザル | 該当なし |
| | | | 標準型プロポーザル | 該当なし |
| | | | その他の随意契約 | 該当なし |
| | 物品・役務等 | 一般競争 | | 22件 うち、1者応札案件 7件 |
| | | 指名競争 | | 該当なし |
| | | 随意契約(企画競争・公募) | | 3件 |
| | | 随意契約(その他) | | 1件 |
| | (特記事項) なし | | | |

| | 意見・質問 | 回答等 |
|--|---|--|
| 委員 らの 意 見 ・ 質 問 そ れ に 対 す る 回 答 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ カラーデジタル複合機の入札を賃貸借5年分、保守1年分の料金を合計した金額で行っているが、賃貸借と同様に保守も5年にはできないのか。 ・ 素材生産事業の入札でA等級の事業にC等級の者が応札できるのはなぜか。 ・ 素材生産事業の入札を総合評価落札方式で行っているが、一般競争入札方式と総合評価落札方式との選択の基準は何か。 ・ 治山事業調査等積算システムデータメンテナンスとはどのような業務か。 ・ 地すべり機構調査業務の評価点はどのようにして算出するのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸借のように月額の料金が確定しているものについては、国庫債務負担行為により5年間の契約を結ぶことができるが、保守のように料金に変動が生じるものについては同様の契約はできない。 ・ 労確法の認定を受けることで、直近上下位に対応する事業に応札できることとしているが、応札者がなく再度入札を行う場合は、更に上下に広げることができることとしているためである。 ・ 架線による集材のみを実施する場合は一般競争入札方式、高性能林業機械に適した路網の整備等により森林整備の低コスト化が期待される場合、取水地など周辺環境への配慮が特に必要な場合は総合評価落札方式を選択している。 ・ 治山事業積算システムの労務単価、歩掛り等の積算因子の入れ替えを行い、システムを最新の状態に保持する業務である。 ・ 応札者が提出する技術提案書、配置予定技術者の経験及び資格等を基にして算出している。 |
| | 委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置] | 特になし |